

評 価 結 果

農業農村整備事業等再評価結果書

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C									その他
関東農政局	茨城県	農業競争力強化農地整備事業	利根北部	茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.09	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を 要求する。	当地区は、現在までに区画整理及び集落排水路の整備が概ね完了し、事業進捗率は92%となっている。残工事については、排水機場の整備及び一部の集落排水路の整備だけとなっている。 本事業により、既に区画拡大等の整備が行われた農地では、担い手への農地利用集積による経営規模の拡大が計画どおり順調に進み、現時点で集積率は62%となっており、担い手農家の後継者も確保されている。また、集落排水路の整備を推進することにより、今後の台風・長雨等で地区の湛水被害が減少するなどの事業効果の発現が考えられる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	茨城県	農業競争力強化農地整備事業	幸江崎	茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.12	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を 要求する。	当地区は、現在までに区画整理が概ね完了し、事業進捗率は89%となっている。残工事については、畑の整地工及び橋梁等の整備等だけとなっている。 本事業により、既に区画拡大等の整備が行われた農地では、担い手への農地利用集積による経営規模の拡大が計画以上に進み、現時点で集積率52%となっている。また、高収益作物である白菜等の作付けも行われるなどの事業効果が見られている。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	千葉県	農業競争力強化農地整備事業	夷隅川1期	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.10	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を 要求する。	当地区は、現在までに区画整理が概ね完了し、事業進捗率は71%となっている。残工事については、一部の排水路と集落排水路等の整備だけとなっている。 本事業により、整備が行われた農地では、担い手への農地利用集積が計画以上に進み、現時点で集積率が72%となっている。また、高収益作物であるスイートコーンの作付けも行われるなどの事業効果が見られている。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	農業競争力強化農地整備事業	国府川左岸2期	新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.31	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を 要求する	農道、用水路、暗渠排水を行う本事業の進捗率は73%であり、本事業を契機に設立された農業法人等への農地集積や生産性の向上などの事業効果が順調に発現している。また、暗渠排水による汎用化により、複合営農が促進され、担い手農家の経営基盤の強化も進んでいる。 引き続き新潟県と調整して残事業を早期に完了させるとともに、関係機関と連携し担い手への農地集積についても目標達成に向けて努力されたい。	予算を割り当てる	
関東農政局	茨城県	水利施設等保全高度化事業	本郷高野	茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	2.05	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を 要求する。	当地区は、地域一帯の公図混乱や地権者の所在が不明な土地が多く、その対応に時間を要したものの、現在までに公図と現地の確認や各種調整を終了している。 また、事業推進についての地元の意欲は高いことから、今後は計画的に整備を進める予定となっている。 事業完了に向けて着実に事業を推進し、事業効果の早期発現に努められたい。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目														事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ			オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他						
関東農政局	千葉県	水利施設等保全高度化事業	両総茂原南	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.38	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を要求する。	当地区は、地区内を縦横断する天然ガス供給管等の既存埋設管が多く、関係機関との協議調整に時間を要したものの、現在までの事業進捗率は76%となっている。 また、本事業により、既に用水路を整備した地区では、農業用水の適正配分が可能になるなど農業用水の安定供給が図られている。 今後ともコスト縮減を図るとともに、埋設管路の上部利用にも配慮しつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。		
関東農政局	千葉県	水利施設等保全高度化事業	北総中央Ⅰ期	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.09	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を要求する。	当地区の排水改良については、洪水調整池整備に伴う用地交渉の協議調整に時間を要し、事業長期化の要因となっていたものの、現在までに用地取得が進み、概ね洪水調整池の工事は完了している。また、本事業により、既に排水改良された地域では、冠水被害の軽減や労働環境の改善などの事業効果が見られている。一方で、用水整備については遅延し、未だ事業が長期化する要因となっている。 今後は、営農状況、既設用水路の老朽化や地下水位低下の有無等の現状を確認し、要望があり事業推進が期待できる区域の用水整備を分割採択するなど、効率的な整備が進むよう関係機関と調整を図る予定となっている。 事業完了に向けて、関係者と調整して計画変更を行い、事業の着実な推進に努められたい。	予算を割り当てる。		
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	三面川左岸Ⅰ期	新潟県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.50	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を要求する	作付時期の通水を確保しつつ改修工事を行う必要があること等から、年間の施工可能性が限られている中で、進捗率は96%に達している。 令和2年度の完了に向けて残工事を着実に施工し、早期の効果発現に努められたい。	予算を割り当てる		
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	信濃川右岸Ⅰ期	新潟県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.08	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を要求する	水路トンネルの改修を行う本事業の進捗率は64%であり、農業用水の安定的な送水及び水路トンネル地上部の住宅地域等における陥没事故の未然防止など事業効果が着実に発現している。 引き続きコスト縮減に努めつつ、令和3年度の完了に向けて、関係機関と連携し計画的な事業推進に努められたい。	予算を割り当てる		
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	阿賀野川右岸Ⅰ期	新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.54	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を要求する	関連事業である国営阿賀野川右岸地区については既に完了している一方で、本事業による排水路及び排水機場整備は35%の進捗にとどまっている。湛水被害の防止や水田の汎用化の促進効果は、これらの施設の整備済みの地域において順次発現しているものの、事業全体の効果の早期発現が強く望まれる。 引き続きコスト縮減に努めつつ、新潟県と調整して令和6年度の完了に向けて、計画的な事業推進に努められたい。	予算を割り当てる		

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目														事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ			オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他						
東海農政局	三重県	水利施設等保全高度化事業	宮川1工区	三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.10	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を要求する	関連する国営事業は完了しており、本事業の実施による総体的な事業効果の発揮が望まれる。 農業用水の安定供給による農作物の生産向上や水管理労力の低減を図るなどの事業効果を早期に発現するため、引き続きコスト縮減や環境への配慮に取り組みつつ、予定工期内の事業完了を目指されたい。 本事業の効果を長期的に発揮していくためには、地域の実態に即した担い手の育成、営農体制の構築に努められたい。	予算を割り当てる		
中国四国農政局	徳島県	水利施設等保全高度化事業	上板	徳島県	×	○	○	-	○	○	○	○	1.07	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を要求する	本地区は、排水路と一体的に整備が進められてきた道路整備事業の用地交渉・協議調整に時間を要したことから工期が延伸することとなった。そこで、早期の事業完了・効果発現のため、調整未了であった下流区間の道路計画を廃止し、本地区の排水路に係る用地については区分地上権の設定に向けて関係者との調整を終えた。その結果、現在では計画的な事業実施が可能な状況となっている。 また、本地区の排水路の上流区間約3分の2については施工完了しており、老朽化による漏水や農地陥没などといった被害が軽減されるなど効果が発揮されている。 残る下流区間についても、自然環境及び生活環境へも配慮しつつ、農地保全と生産性の高い農業経営安定等の所期の効果が早期に得られるよう事業を着実に継続する。	予算を割り当てる		
九州農政局	大分県	水利施設等保全高度化事業	竹田西部	大分県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.24	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を要求する	本地区は、国営事業の進捗に係る地元農家への水利用の啓発・調整に時間を要したが、概ね農業用排水及び区画整理を終え、令和3年度までにすべての工事を完了する予定である。 地元の強い要望を踏まえ、引き続き残事業の計画的な実施に努め、早期の完了が望まれる。	予算を割り当てる		
九州農政局	鹿児島県	水利施設等保全高度化事業	第三曾於南部	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.41	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を要求する	本地区は、関連事業である国営事業の完了後10年が経過し、幹線用水施設の整備は完了している。 地元では、地域農業を支えるため、畑地かんがい用水の活用により、茶、野菜等を中心とした安定した農業を推進しており、残事業の農道、排水路を整備し、令和2年度に事業を完了させ、効果の更なる発現が望まれる。	予算を割り当てる		
九州農政局	鹿児島県	水利施設等保全高度化事業	第一南亀	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.36	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を要求する	本地区は、これまでに区画整理及び土層改良は概ね完了している。 地元は畑地かんがい用水を活用した高収益作物栽培による増収等を通じて安定した農業経営を進めるため、事業の推進を希望している。 赤土等流出防止対策等の環境にも配慮しつつ、引き続き残事業の計画的な実施に努め、早期の完了が望まれる。	予算を割り当てる		

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ			オ	カ	キ						ク
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C									その他
九州農政局	鹿児島県	水利施設等保全高度化事業	第二浅間	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.12	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を要求する	本地区は、これまでに土層改良は概ね完了している。 地元は畑地かんがい用水を活用した高収益作物栽培による増収等を通じて安定した農業経営を進めるため、事業の推進を希望している。 赤土等流出防止対策等の環境にも配慮しつつ、引き続き残事業の集中的かつ計画的な実施に努め、早期の完了が望まれる。	予算を割り当てる	
東北農政局	秋田県	農村地域防災減災事業	下吹	秋田県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.52	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を要求する	本地区は、現時点で主要な対策工事が完了し、その効果の発現を確認しており、地すべり対策が着実に進んでいる。 今後は、本事業による地すべり対策工の効果について、十分な経過観察を行い、事業の早期概成に努められたい。 また、事業概成後は、将来に亘って地域住民が安心して営農や生活が行えるよう、地域住民とも連携して地すべり対策工などに対して適切な監視を行われたい。	予算を割り当てる	
関東農政局	茨城県	農村地域防災減災事業	新郷2期	茨城県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.26	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を要求する。	当地区は、排水機場の改修にあたり河川堤防の開削を伴う河川協議の調整に時間を要したものの、排水機場の1か所の改修、排水路の79%の整備が完了している。また、河川協議を終了したことから、残る1か所の排水機場の改修についても計画的に進める予定となっている。 また、本事業により、既に排水路が整備された地区では通水能力の改善により湛水被害の軽減効果が見られているほか、残る排水機場の改修を行うことにより、周辺宅地部の湛水被害の軽減効果も期待される。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	茨城県	農村地域防災減災事業	小貝東部2期	茨城県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.73	○	○	○	○	継続する。	R2年度予算を要求する。	当地区は、近年、宅地化が進んだ区域内の整備であったことから、地元調整に時間を要したものの、事業進捗率が42%となっている。現在までに、地元調整が終了したことから、今後は計画的に整備を進める予定となっている。 また、本事業により用水路が整備された地区では、必要な用水量が確保されるなど農業用水の安定供給が図られている。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	埼玉県	農村地域防災減災事業	権現堂	埼玉県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.07	○	○	○	-	継続する。	R2年度予算を要求する。	当地区は、県道及び宅地が隣接する区間の水路改修であり、施工方法の検討等に時間を要したものの、事業進捗率が、全面改修区間で64%、嵩上げ改修区間で31%となっている。現在までに施工方法の決定等がなされたことから、今後は計画的に整備を進める予定となっている。 また、本事業により用水路が整備された地区では、通水能力の確保など農業用水の安定供給が図られている。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C									その他
北陸農政局	新潟県	農村地域防災減災事業	安野川(5期)	新潟県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.02	○	○	○	○	継続する	R2年度予算を 要求する	排水路工事に際して、断面拡幅に伴う用地取得や遺跡調査に係る関係機関との協議・調整により事業が遅延したものの、排水路整備が行われた地区については湛水被害を軽減する効果が確実に発現している。 引き続きコスト縮減に努めつつ、残工事を早期に完了させるとともに、排水路の適切な維持管理にも努められたい。	予算を割り当てる	
東海農政局	愛知県	農村地域防災減災事業	善太新	愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	6.60	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を 要求する	海抜ゼロメートル地帯に位置する本地区において排水施設の改修は農地だけでなく地域住民の生活を守るために重要な整備であり、十分な事業効果があると考えられる。 整備したポンプの運用は既に開始され、周辺整備などの残工事が残る状況であるが、引き続きコスト縮減や環境への配慮に取り組みつつ、予定工期内の事業完了を目指されたい。 今後、局地的な豪雨の増加や台風の大型化が懸念されるため、建設部局の所管する施設との連携を図り、地域住民と協力し、効率的な地域防災機能を発揮することが望まれる。	予算を割り当てる	
中国四国農政局	愛媛県	農村地域防災減災事業	石畳	愛媛県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.64	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を 要求する	本地区は、事業着手後に当初想定した地すべり規模と異なる挙動が明らかとなり、解析及び追加対策工事に時間を要した。このことから工期が延伸することとなったが、現在までに整備をほとんど完了しており令和2年度までに概成する見込みである。 近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかで地すべり対策を行うことは、地域の農業経営の安定と国土保全を図るため重要である。 このような所期の効果が早期に得られるよう事業を推進する。	予算を割り当てる	
中国四国農政局	愛媛県	農村地域防災減災事業	客	愛媛県	○	○	○	-	○	○	○	○	4.76	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を 要求する	本地区は、改修に用いるコア土の賦存量が不足し、事業着手後に新たな土取場調整を行ったこと等から進捗に遅れが生じたが、現在では調整を終え計画的な事業実施が可能な状況になっている。 また、本地区は急傾斜地が多く、さらに真砂土であることから浸食や土砂災害を受けやすい状況にあり、近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかでため池等の整備を行うことは、地域の農業経営の安定と国土保全を図るため重要である。 このような所期の効果が早期に得られるよう事業を着実に継続する。	予算を割り当てる	
中国四国農政局	愛媛県	農村地域防災減災事業	浅海	愛媛県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.48	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を 要求する	本地区は、改修に用いるコア土の賦存量が不足し、事業着手後に新たな土取場調整を行ったこと等から進捗に遅れが生じたが、現在では調整を終え計画的な事業実施が可能な状況になっている。 また、本地区は急傾斜地が多く土砂災害を受けやすい状況にあり、近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかでため池等の整備を行うことは、地域の農業経営の安定と国土保全を図るため重要である。 このような所期の効果が早期に得られるよう事業を着実に継続する。	予算を割り当てる	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項 目												事業主体の実 施 方 針	事業主体の 予算要求方針	技 術 検 討 会 の 意 見	補助金交付の方針	備 考	
					ア		イ		ウ		エ			オ	カ	キ						ク
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C									その他
中国四国農政局	高知県	農村地域防災減災事業	梶原北部	高知県	○	○	○	-	○	○	○	○	2.36	○	○	○	-	継続する	R2年度予算を 要求する	本地区は、事業着手後に新たな地すべりの兆候が見つかったため調査観測及び調整に時間を要した。このことから工期が延伸することとなったが、現在では調整を終え計画的な事業実施が可能な状況になっており、令和3年度までに概成する見込みである。 近年の集中豪雨等の異常気象が頻発するなかで地すべり対策を行うことは、地域の農業経営の安定と国土保全を図るため重要である。 このような所期の効果が早期に得られるよう事業を推進する。	予算を割り当てる	